

【武蔵村山市】

一人1台端末の利活用に係る計画

1. 一人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

ICTの活用により、教育における空間的・時間的制約を緩和し、児童・生徒の資質・能力・個々の状況に合わせた「個別最適な学び」の実現による新たな指導を行うことで、「主体的・対話的で深い学び」を促し、児童・生徒一人一人の資質・能力をより効果的に育成することを目指す。

2. GIGA第1期の総括

令和2年度中に全児童生徒分の一人1台端末の整備及び高速大容量の通信ネットワークの整備を行うとともに、教員のICT活用力向上のためICT支援員の派遣を開始した。通信ネットワーク環境のさらなる向上に向け、令和5年度にネットワークアセスメントを実施し課題を抽出し、令和6年度には通信ネットワークの再構築による改善を図った。また年数の経過に伴い、状態の悪い端末や故障して使用不能な端末が増えており、授業時等の取り扱いだけでなく、学校現場における保管含めた端末の取り扱いの改善による持続可能な端末の整備が課題である。

一人1台端末の利活用については、授業内における様々な工夫の中で活用が進み、ワークシート等の共有を通じた児童・生徒の意見交換や発表の実施、調べ学習の課題への取組、デジタル教科書・デジタルドリル教材（「eライブラリ」等）での活用がなされた。今後も更なる効果的な活用に向け、研修等の機会やICT支援員との伴走の中で工夫を重ねていく。

3. 一人1台端末の利活用方策

今後も計画的に端末の更新やネットワーク環境の改善を行い、一人1台端末環境を引き続き維持し、校内の様々な場面におけるICT研修の実施により、教員のICT活用能力の向上を図ることで授業改善に生かす。また、週3回以上を目安として日常的に端末を活用する状況を目指す。引き続き、端末を利用した授業の進め方については、効果的な活用事例の共有を図っていくことで、児童・生徒の端末を利用した調べ学習や、発表・表現を促進し、端末の利活用を推進していく。

さらに、以下のとおり様々な場面での端末の利活用を通じて、学びの保障につながる取組を推進していく。

- ・不登校児童生徒へのオンラインでの支援（VLP（ヴァーチャル・ラーニング・プラットフォーム）等の活用）
- ・日本語学級での理解を促進するための活用（修飾語等の日本語とアップロードした画像を組み合わせて学ぶ視覚的理解の促進）
- ・特別支援学級における活用（クリスマスパーティ等のイベントに向けた、音楽と画像を組み合わせたPowerPointのスライド作成等）

端末の利活用によりオンラインでのICT支援も受けることが可能となっており、今後の効果が期待されるものである。

※（ ）内は本市における具体的活用事例